

## 3年連続、金賞!

【第十四中学校吹奏楽部】

▶ 第23回全日本マーチングコンテスト金賞



「十四中のファンです」。他県の見知らぬ人に、そう声を掛けられることも多いという第十四中学校。マーチングの強豪として全国から一目置かれる存在となっている。

マーチングの動きから演奏まで、すべての指導を行なうのは顧問の玉井長武先生。全国大会で金賞を取るような学校で外部の専門家の指導を受けていないのは、この学校ぐらいだという。「『普通は中学生にやらせないでしょ』という高度な曲や動きも取り入れています。あえて限界を作らないんです。そこが専門の指導者じゃないからこそできる強みかな」と玉井先生は笑う。その言葉のとおり、演技は他の学校と一味も二味も違う。全国大会では、マーチングの楽曲には珍しいショパンの曲を取り入れ、会場を驚かせた。

「賞を獲得」ことを目的とするのではなく「目の前の観客に楽しんでもらう」という徹底した共通目標が、チームの強さと魅力につながっている。



# す ご い ね!

## 足立の子どもたち

(vol. 2)

# music

練習。練習。夏休みも。

学習教室の後も。

【弘道小学校吹奏楽部・パフォーマンス部】

▶ 第10回東日本中学校吹奏楽大会  
フェスティバル部門 実行委員長賞

「練習の量では負けない」と語るのは顧問の坂井千加子先生。昨年10月に行われた東日本中学校吹奏楽大会フェスティバル部門で実行委員長賞を獲得。演奏曲はアルフレッド・リード作曲の吹奏楽曲「エル・カミーノ・レアル」。

この大会に向けて夏休みでもお弁当持参で練習。途中に学習教室で抜ける児童もいるが、また戻ってきて練習という熱の入りよう。また、保護者の組織もしっかりしていて、カラフルな衣装は保護者のアイデアで手作り。



## 30年連続出場!

【長門小学校児童合唱団】

▶ 東京都小学校合唱祭 出場

273名の児童のうち95名が所属している長門小学校児童合唱団。東京都小学校音楽教育研究会主催の「東京都小学校合唱祭」に、なんと30年間にわたり出場を続けている。

火～金曜日の朝に練習をしており、「継続は力なりです」と顧問の松沼由起子先生。

他の団体だと5・6年生で構成されているところが多い中、長門小は3年生以上で構成。大会でも「笑顔がいい」「ハキハキと一つ一つの言葉が大事に使われている」と絶賛された。



足立の子どもたちの音楽分野での活躍は目覚しく、全日本マーチングコンテストでの第十一中、第十四中のダブル金賞は記憶に新しい。

「秋に学校で行われた音楽会を掲示板で見学しました。その音色に感激して、今回の合唱祭にも長門小の音色を聴きに来ました」という声も聞かれたのは、2月11日に東京都小学校合唱祭に出場した長門小。観客の中には保護者ではない地域の「長門小ファン」も多い。活躍は音楽会だけでなく、私立幼稚園からクリスマスコンサートで合唱してほしいといった依頼も舞い込んでいる。

音楽分野で活躍する学校は数知れず、今回紹介した学校はごく一部。今後とも引き続き紹介していく。